

5級 大問1～大問4 対策冊子 Ver.2

2011年度春期～2021年度冬期

☆検定試験の一番有益な対策は、なんとと言っても、多くの「過去問」に当たって砕ける…ではなく、マスターすることですね。しかし、何冊もの対策本を購入するのは、コスト・パフォーマンス的に見て、負担が…。そんなわけで、今回、**2011年から2021年までの約10年間**について、**大問1から大問4**までの出題内容を冊子としてまとめてみました。

☆過去問を一定期間に渡って見てみることは、学習の初期段階であればあるほど、受験対策として有益ですね。なぜなら、初期段階であればあるほど、出題の範囲が限定されるのですから、出題ポイントを「ほぼ網羅的」に把握しておくことができ、試験会場でも、どのような問題が出るかと不安になることもなく、「さて今回はどの問題が出るのかな？」と、余裕を持って解答を「楽しむ」ことさえできますね！

語彙に関しても、独検事務局の『各級のレベルと内容』で「語彙 550 語」と、**語数**は書かれていますが、それらがどのような語彙かは具体的に示されていません。しかし、5級レベルの語彙の、試験ごとの「**異なり度**」は、他の級と比べて、ずっと小さいはず。そして、実際、**毎年**の出題語彙を見ると、いわゆる「リピーター」がかなり多いように感じられます。したがって、語彙の場合も、過去問の語彙を、可能な限り把握しておくことは、「実(じつ)のある」対策になるはず。

☆私たちは、この冊子が皆さんの受験の手助けになると確信しつつも、他方、実際にどれほどの手助けになるのかと不安にもなりますが、ともかく皆さんが独検を楽しみ、そして全員合格されることを祈ります!

2022年3月

著者

1 大問1 動詞の現在人称変化 (本書 37 頁～72 頁)

大問1は、()を含む文をいくつか並べ、()の中に、選択肢として挙げられた**現在人称変化形**から適切なものを選んで入れさせる設問です。要するに、以下のような設問の複合版です。

類題 Ich () gern Deutsch.

私はドイツ語を学ぶのが好きです。 ← 本試験はもちろん訳なし

選択肢 1 lerne 2 lernst 3 lernt

このような設問の場合、みなさんはどのような手順で**解答**しますか？ 私たちなら、まず、①**選択肢**を見る。動詞の様々な形が並んでいるので、もちろん「**人称変化**」形の問題だと判断。次に、②**人称変化形は主語と呼応するので、主語を確認**。③この文の主語は **ich**。ich は**1人称単数**、**人称語尾は -e**。そして、最後に、④以上のこと(語尾が -e)を頭に入れて、適切な**選択肢**を探す。適切な**選択肢は lerne**。したがって、正解として**選択肢1**を選ぶ。

次に、どのような動詞が具体的に**出題対象**になったかも知っておく方がよいでしょうから、2016年から2021年までの間に**出題された動詞**を一覧にしてみました。意味と**人称変化形**は省いてしまいましたが、**スママセン**(ご自身で)！(出題年は「21年冬」のように略記)。

21年	冬	fahren	heißen	sein	wohnen
	夏	besuchen	schreiben	sein	studieren
20年	冬	besuchen	haben	lesen	sein
	夏	— 実施されず —			
19年	冬	kennen	sein	studieren	wohnen
	夏	finden	lernen	reisen	schreiben
18年	冬	heißen	liegen	schlafen	trinken
	夏	besuchen	essen	machen	tanzen
17年	冬	lieben	schwimmen	studieren	wohnen
	夏	arbeiten	sein	sprechen	trinken
16年	冬	haben	sein	spielen	werden
	春	gehen	machen	sehen	sein

しかし、2016年までですと、「看板に偽りあり」と言われそうなので、以下、**2011年から2021年までの全出題動詞を、語幹が変化するかどうかで分けて、整理してみました。**出題回数も分かる方がよいと思い、2回以上の動詞にはその回数を上付き数字で記載しました。

A 語幹に変化なし

①完璧な「規則変化」型（計28回）

besuchen³ / **bleiben** / **gehen**² / **kennen**² / **kommen** / lernen / **liegen** / machen² / **schreiben**² / spielen / studieren⁵ / **trinken**² / wohnen⁵

*一部、後々「不規則変化動詞」と分類されるものも入っていますが（太字）、現在形に限れば、これらも「規則変化」ですので、ここに入れました。

②口調上のe型（計9回）

arbeiten³ / finden⁵「…⁴を～と思う」 / möchten

*Ich finde ihn ganz nett. 私は彼のことをとても親切と思います。

③語幹の末尾が -s / -ß / -z（計6回、heißenは内4回）

heißen⁴ / reisen / tanzen

B 語幹に変化あり

a) sein¹³ / haben⁷ / werden²（この3語で計22回）

b) essen / fahren² / gefallen / lesen / schlafen³ / sprechen³ / sehen（この7語で計13回；gefallenがちよっと「5級超え」）

「語幹に変化あり」の動詞の場合も、上述の「私たち流」の解答方法でよいのかと不安に思う人がいるかも知れませんが、これらの場合も、**主語と動詞の語尾の関係**をしっかり押さえておけば、「ほぼ大丈夫」です。

なお、「ほぼ大丈夫」でも不安だと言う人用に、最後に、2011年から2021年までの間に出題された「語幹に変化あり」の動詞と主語と関係を、用例とともに、以下に挙げてみます。用例の太字が**主語**と**人称語尾**。

essen **Mein Vater** isst gern Fleisch. Vater →人称語尾 -t
私の父は肉が好きです。

fahren **Er** fährt gern Auto. Er →人称語尾 -t
彼は車を運転するのが好きです。

gefallen	<u>Die Tasche</u> gefällt mir sehr gut. Tasche→人称語尾 -t 私はそのバッグがとても気に入っています。	
lesen	<u>Mein Sohn</u> liest gerne. Sohn →人称語尾 -t 私の息子は本を読むのが好きです。	
schlafen	<u>Das Baby</u> schläft fest. Baby →人称語尾 -t 赤ちゃんはぐっすり眠っています。	
sehen	<u>Sie</u> sieht gerne den Film. Sie →人称語尾 -t 彼女はその映画が好きです。*複数や敬称ならば、語尾は -en	
sprechen	<u>Er</u> spricht Deutsch. Er →人称語尾 -t 彼はドイツ語を話します。	
werden	<u>Er</u> wird bald 20 Jahre alt. Er →人称語尾 -d 彼はまもなく 20 歳になります。*ちょっと例外	

2 大問 2 冠詞類, 人称代名詞, 疑問詞 (本書 73 頁~105 頁)

大問 2 は, ①冠詞類, ②人称代名詞, ③疑問詞を選択肢として挙げ, 適切なものを選んで () の中に入れさせる設問ですね。

2.1 冠詞類の格変化形 (本書 74 頁~87 頁)

冠詞類の解答方法を, A) 定冠詞, B) 不定冠詞, C) 所有冠詞の場合に分けて説明してみます。以下ようになります。

*定冠詞はほぼ毎回出題されましたが, 不定冠詞は一度のみ, 所有冠詞は三度ほど出題されただけです。

A) 定冠詞

類題 () Lehrer ist nett. その先生は親切です。

選択肢 1 Der 2 Die 3 Das 4 Den

まず, ①選択肢を見る。定冠詞の様々な形が並んでいるので, 定冠詞の**変化形**の問題だと判断。次に, ②定冠詞は名詞の「**性・数・格**」に応じて変化するので, () の後ろの名詞 **Lehrer** の「**性** (男性)・**数** (単数)」と文中での「**格** (1 格)」を確認。そして, 最後に③以上のこと (「男性・単数・1 格」) を頭に入れて, 適切な選択肢を探す。適切な選択肢は **Der**。したがって, 正解として**選択肢 1** を選ぶ。

B) 不定冠詞

類題 Sie hat () Hund und zwei Katzen.

彼女は一匹の犬と二匹の猫を飼っています。

選択肢 1 ein 2 eine 3 einen 4 eins

不定冠詞の場合も、解答方法は定冠詞の場合と同じです。まず、①選択肢を見る。不定冠詞の様々な形が並んでいるので、**不定冠詞の変化形**の問題だと判断。次に、② () の後ろの**名詞 Hund** の「**性** (男性)・**数** (単数)」と文中での「**格** (4格)」を確認。そして、最後に③以上のこと(「**男性**・**単数**・**4格**」)を頭に入れて、適切な選択肢を探す。適切な選択肢は **einen**。したがって、正解として選択肢 3 を選ぶ。

以上が定冠詞と不定冠詞に関する私たちの解答方法ですが、2011年から2021年までに出题された**名詞**とそれらの「**性**・**数**・**格**」と正解の**定冠詞**、**不定冠詞**を一覧にしてみます。(右端は出題年)

出題された名詞		性・数・格		正解	出題年
Wein	ワイン	男性・単数・1格	→	der	18年夏
Garten	庭	男性・単数・1格	→	der	16年夏
Bruder	兄<弟>	男性・単数・1格	→	der	15年秋
Tasche	バッグ	女性・単数・1格	→	die	20年冬
Schwester	姉<妹>	女性・単数・1格	→	die	18年冬
Blume	花	女性・単数・1格	→	die	16年冬
Hose	ズボン	女性・単数・1格	→	die	15年春
Auto	車	中性・単数・1格	→	das	14年秋
Mann	男性	男性・単数・4格	→	den	17年冬
Sohn	息子	男性・単数・4格	→	einen	17年夏
Frau	女性	女性・単数・4格	→	die	21年夏
Schuhe	靴	複数・1格	→	die	19年冬

*以上の具体例を見れば分かるように、「4格」の出題は3回、「複数」の出題は1回のみ。そして、正解の6割近くが「男性」か「女性」の「1格」。そして、1格に限れば、「男性」と「女性」の比率は、3対4。答えに窮した場合、みなさんはどうされますか?—窮することなんかない?— スミマセン、余計な心配して。

C) 所有冠詞

所有冠詞の出題は2種類ありますが、その一つは「21年冬初出」で、もう一つは2017年夏に一度だけ出題されたものです。

(a)「21年冬初出」のものは、**所有冠詞**の変化形を選択肢として挙げ、先行文との関連で適切なものを後続文の()に入れさせる設問です。

類題 Hans ist Student. () Geburtstag ist am 1. Mai.

ハンスは学生です。 () 誕生日は5月1日です。

選択肢 1 Mein 2 Dein 3 Sein 4 Ihr

このような設問の場合は、以下のような**解答方法**でどうでしょうか？
いつものように、まず、①**選択肢**を見る。**様々な人称**の所有冠詞が並んでいるので、**所有冠詞**の「**人称**」と「**数・性・格**」が問題と判断。②最初のポイント(「**人称の種類**」)は、先行文の名詞次第なので、先行文中の名詞を見る。HansとStudent。どちらも「3人称」。③次のポイント(所有冠詞の「**数・性・格**」)は、()の**後ろの名詞次第**なので、後続文の名詞Geburtstagの「**数(単数)・性(男性)・格(1格)**」を確認。そして、最後に、④以上のこと(「3人称・単数・男性・1格」)を頭に入れて、適切な**選択肢**を探す。適切な**選択肢**はSein。したがって、正解として**選択肢**3を選ぶ。

(b)「2017年夏のみ」のものは、**人称代名詞**と**所有冠詞**を選択肢として**併記**し、文法的観点から適切なものを()の中に入れさせる設問です。

類題 Kennst du () Namen?

君は()名前を知っていますか？

選択肢 1 er 2 ihn 3 sein 4 seinen

まず、①**選択肢**を見る。**選択肢**は3人称の**人称代名詞**(er, ihn)と**所有冠詞**(sein, seinen)。したがって、②**最初のポイント**は、**人称代名詞**と**所有冠詞**のどちらの設問なのかの判断。()の**前後**を見ると、すぐ前には**人称代名詞**、すぐ後ろには名詞Namenがあるので、()の中に入れるのは**所有冠詞**の方だと判断。③**次のポイント**は、**所有冠詞**とした場合の「**人称・数・性・格**」の確認。「**人称**」は、**選択肢**のすべてが「3人称」なので問題なし。「**数・性**」は、名詞Namen次第(「**単数・男性**」)。「**格**」

は、動詞 **kennen** と名詞 **Namen** の関係によって決まる（「4格」）。そして、最後に、④以上のこと（「3人称・単数・男性・4格」）を頭に入れて、適切な選択肢を探す。適切な選択肢は **sein**。したがって、正解として選択肢 4 を選ぶ。

2.2 （特に）3 人称の人称代名詞（本書 88 頁～94 頁）

人称代名詞の設問は、名詞を含む文（先行文）と（ ）のある文（後続文）を並べ、（ ）の中に、選択肢として挙げられた**人称代名詞**から適切なものを選んで入れさせるものですね。

*人称代名詞の事物を指す用法については、本書 92 頁で確認。

類題 Ich habe eine Tochter. () ist Ärztin.

私は娘が一人おります。 () 医者です。

選択肢 1 Er 2 Sie 3 Es 4 Ihr

この設問の場合、以下のような**解答方法**はどうでしょう？

まず、①選択肢を見る。**様々な人称代名詞**が並んでいるので、**人称代名詞**の「人称・数・性・格」を確認する必要があると判断。次に、②「代名詞」の「人称・数・性」は関連する名詞次第なので、**先行文の名詞**を見る。名詞は **Tochter**（「3人称・単数・女性」）。続けて、③「格」は、（ ）の文中での役割次第なので、（ ）に入る語の**格**を確認（主語の「1格」）。そして、最後に、④以上のこと（「3人称・単数・女性・1格」）を頭に入れて、適切な選択肢を探す。適切な選択肢は **Sie**。したがって、正解として選択肢 3 を選ぶ。

人称代名詞の場合も、2011 年から 2021 年までの間に**出題された先行文の名詞**（人称代名詞の対象になる語）とそれを受け、後続文の（ ）に入れるべき正解の**人称代名詞**をグループ化して一覧にしてみました。

先行文の名詞		数・性	後続文での格	正解
Sohn	息子	単数・男性	1 格	→ er
Zug	列車	単数・男性	1 格	→ er
Bruder	兄<弟>	単数・男性	1 格	→ er
Vogel	鳥	単数・男性	1 格	→ er
Hund	犬	単数・男性	1 格	→ er

Katze	猫	単数・女性	1格	→ sie
CD	CD	単数・女性	1格	→ sie
Brille	メガネ	単数・女性	4格	→ sie
Frau	女性	単数・女性	4格	→ sie
Hemd	シャツ	単数・中性	4格	→ es
Tor	門	単数・中性	1格	→ es
Theater	劇場	単数・中性	1格	→ es
Haus	家	単数・中性	1格	→ es
Buch	本	単数・中性	1格	→ es
Wörterbuch	辞書	単数・中性	1格	→ es
Kinder	子供たち	複数	1格	→ sie
Großeltern	祖父母	複数	1格	→ sie
Schuhe	靴	複数	1格	→ sie

*上掲の具体例から分かるように、正解はほとんどが「単数・1格」。したがって、正解を選べるかどうかは、名詞の「文法上の性」が分かるかどうかですね。

なお、たとえば **Esst** () **gern Fleisch**? 「() お肉はお好きですか?」とか、**Ja**, () **komme** aus Japan. 「はい、() 日本から来ました」のような文を挙げ、() に入れるのに適切な人称代名詞を選ばせる設問もありました (13年春, 16年夏, 19年夏; 前者の正解は **ihr** 「2人称・親称・複数・1格」; 後者の正解は **ich** 「1人称・単数・1格」)。

2.3 疑問詞 (本書95頁~97頁)

疑問詞の設問は、() のある先行文とそれに返答する後続文からなり、() の中に、選択肢として挙げられた疑問詞から適切なものを選んで入れさせるものですね。疑問副詞と疑問代名詞の場合があります。

類題	() wohnt er? — Er wohnt in Köln.
	彼は () 住んでいるの? 彼はケルンに住んでいます。
選択肢	1 Wer 2 Was 3 Wo 4 Wohin

このような設問の場合、以下のような**解答方法**はどうでしょうか? まず、①**選択肢**を見る。様々な疑問詞が並んでいるので、**補足疑問文**の問題だと判断。次に、②**補足疑問文**と返答文で異なるのは、**疑問詞**とそ

れに対する**返答部分**のはず。したがって、疑問文と返答文で同一の語句を削除し(er と wohnt), その後に後続文に残っている語句を確認(in Köln)。そして、最後に、③後続文の残った語句(「ケルンに」)の意味から判断し、適切な選択肢を探す。適切な選択肢は、住んでいる場所を尋ねる疑問詞 **Wo**。したがって、正解として選択肢 3 を選ぶ。

*疑問文の主語が **du** や **ihr** の場合、返答文の主語は **ich** とか **wir** に変わりますが、これは「同一の語句」と考えてください。

疑問詞の意味が分かっている、出題文が読めれば解答できる、それほど複雑な問題ではないですね。疑問詞の数は多くありませんので、以下、例文を付けて、2011 年から 2021 年までの間に出题された疑問詞を一覧にしてみました。訳文の太字が当該疑問詞の意味です。

A 疑問副詞

wo	Wo bist du?	どこにいるの？
woher	Woher kommst du?	君はどこから来たの(出身)？
wohin	Wohin geht ihr?	君たちはどこへ行くの？
wann	Von wann bis wann ?	いつからいつまで？
wie	Wie ist das Wetter heute?	きょう天気はどう？

*形容詞と結びついた形が出题されたこともあります：

Wie alt bist du?	君は 何歳 ですか？	/ Wie spät ist es?	何時 ですか？
warum	Warum kommt er nicht?	なぜ 彼は来ないの？	

B 疑問代名詞 (*疑問代名詞の場合、「格」も問題になります)

wer	Wer bin ich?	私は 誰 でしょう？
wen	Wen liebt er?	彼は 誰 を愛しているの？
was	Was lernst du?	君は 何 を習っているの？

3 大問 3 語彙力 (本書 32 頁～35 頁)

大問 3 は、たとえば、以下のような 4 つの単語を選択肢として挙げ、その中で、意味的に他と異なるものを一つ選ぶ設問ですね。

- 1 Café 2 Mensa 3 Deutsch 4 Restaurant

語彙力の設問の場合、文法的設問の場合と異なり、単語の意味を知っていて、そして常識的な感覚があれば、何が正解なのかは分かりますね。上掲の選択肢の意味は「喫茶店」「学食」「ドイツ語」「レストラン」ですので、正解は3の Deutsch。あるいは？

この設問に関しては、書くべきことが何も浮かびませんでしたので、これまでに過去問で使用された単語を一覧にしてみます。なお、これらの単語で、ご自身の語彙力のテストをするのはどうですか？（60点合格）

<名詞>

Apfel	Bahnhof	Berg	Bett	Bier	Brief
Brot	Buch	Bus	Dienstag	Gabel	Geld
Hand	Hose	Hotel	Januar	Juli	Katze
Kaufhaus	Kino	Lehrer	Meer	Milch	Mond
Museum	Mutter	Nacht	Saft	Ski	Student
Stuhl	Theater	Tisch	Vater	Wind	Zeitung

<名詞以外>

acht	blau	gehen	gut	heiß	heute
kalt	lang	neun	rot	warm	sprechen

4 大問4 音声（本書7頁～30頁）

大問4は、①つづりの読み方（発音）、②アクセント（強勢）、③母音の長短、④文アクセントの、音声に関する設問で、最初の①②③は単語レベル、後の④は文レベルのものですね。

4.1 つづりの読み方（発音；本書8頁～12頁）

つづりの読み方（発音）の設問は、同一のつづりを持つ4つの選択肢を挙げ、その読み方が他の三つと異なるものを一つ選ばせるものです。ドイツ語では、同じつづりでも、前後のつづりとの関係で、読み方が異なることがあるのです。

類題 1 Deutsch 2 Stunde 3 Hund 4 studieren

まず、これまでのように、①選択肢を見る。すべての選択肢でdに下線が引かれているので、子音dの問題と判断。次に、②子音dの出題ポイ

ントを考える。③子音 d の出題ポイントは、前後のつづりがどうなっているかですので、それぞれの前後のつづりを確認。選択肢 1, 2, 4 では母音の前, 3では語末(後ろに何も無い)。したがって、選択肢の 3のみが異なっているので、正解として選択肢 3を選ぶ。

ドイツ語のつづりと日本語のローマ字の相違点は、ドイツ語の場合、上掲の類題のように、前後のつづりとの関係で読み方が異なりうるということです。

まず、これまでに出题された設問の主なポイントを一覧にしてみます。

- ① **eu / äu** ([オイ] と読めるか) **heute / Bäume**
- ② **ie** ([イー] か [イエ] か) **Liebe ⇔ Familie**
- ③ 有声か無声(語末)か **b : Liebe ⇔ gelb**
d : Stunde ⇔ Hand
g : Frage ⇔ Berg
- ④ **ch** (「ハ／ホ／フ」か「ヒ」か) **Nacht / kochen / Buch ⇔ ich**
* chの前者「ハ／ホ／フ」は、前の母音の影響を受けて、このように異なっている聞こえるということで、音声学的には [x] という一つの音声なのです。
- ⑤ **h** (長母音記号か読む文字か) **ihn ⇔ wohin**
- ⑥ **s / sch / sp / st** ([ス] か [シュ] か)
gestern [スト] / Post [スト] ⇔ Mensch / Spiegel / Stadt
*10年春には、s+母音(有声)とsch・とsp・とst・の4つが揃い踏みして
出題されました：**Salat ⇔ Schüler ⇔ Spiel ⇔ Stadt**
- ⑦ **v** ([フ] か [ヴ] か) **Vater ⇔ Vase**

次に、2011年から2021年までに出题されたつづり(字母)と単語を一覧にしてみます。単語の読み方は辞書で確認してくださいね。

- ① **b** **aber** **backen** **blau** **Bruder** **haben**
 leben **Liebe** **lieber** **sieben**
 語末 [ブ] : **gelb** **halb** **siebzehn** **siebzig**
 特殊 : **Obst**
- d** **Danke** **danken** **Deutsch** **drei** **dunkel**
 Student **Stunde** **wandern**
- 語末 [ト] : **Bild** **Hand** **Land** **seid**
- g** **Auge** **Frage** **gehen** **glauben** **grün**

	Morgen	sagen	Spiegel	Wagen
	語末 [ク] :	Berg	Tag	Zug
②	v [フ]	Vater	verstehen	vier Vogel
	[ヴ]	Vase	Klavier	November
		Pullover		
③	ch [ハ/ホ/フ]	(a, o, u, au の後ろで)		
		Dach	Nacht	kochen Tochter
		Buch	auch	
	[ヒ] (上掲以外で)	nicht	sechzehn	sprechen
④	s / sch / sp / st			
	[ス]	Dienstag	Durst	gestern
		Österreich		
		Post	Wurst	
	[シュ]	Schüler	Spiel	Studentin Stadt
	[有声]	Salat (母音の前)		
⑤	h 読む h	Haar	woher	wohin
	長母音の印	Bahn	früh	Jahr gehen
		ihn	Schuh	
⑥	ie [イー]	Liebe	Spiegel	Wien
	[イエ]	Familie		
⑦	eu / äu [オイ]	heute	Freund	Bäume (複数形)

4.2 アクセント (強勢 ; 本書 13 頁~16 頁)

アクセントの設問は、母音字に下線を引いた4つの選択肢を挙げ、「下線部にアクセントがあるもの」あるいは「下線部にアクセントがないもの」を一つ選ばせるものですね。

ドイツ語のアクセントは、**語頭** (第1音節) に置くというのが基本規則ですが、下に示すように、①アクセントを持たない接頭辞 (前つづり) や②アクセントを持つ接尾辞 (語末部分) などに関する細則があります。さらには、③まったく規則化できないものもあります。

以下の類題は「下線部にアクセントがあるもの」を選ばせるものにしたが、アクセントの設問の場合、下線部のある母音のアクセントを一

つひとつ確認していく以外に解答方法はないようです。

類題 1 Beruf 2 Gemüse 3 Pianist 4 Lehrer

まず、①下線部の母音字がアクセントを持つかどうかを確認。選択肢の1の **Be-** はアクセントを**持たない**接頭辞、2の **Ge-** もアクセントを**持たない**接頭辞、3の **-ist** はアクセントを**持つ**接尾辞、4の **-er** はアクセントを**持たない**接尾辞。次に、②これらを、アクセントを持つものと持たないものとに分けると、アクセントを持つのは、選択肢3の **i**のみ。したがって、正解として選択肢3を選ぶ。

<アクセントに関して知っていたい規則>

5級の段階で、アクセントの細則をどこまで学んでおくべきなのか、私たちが迷うところですが、ともかく2011年から2021年までに出题された単語で、上述の例外①②③に該当するものを（再度出题対象になるかもしれないので）一覧にしてみます。

*アクセントのある音節は太字。なお、単語の意味は辞書で調べてくださいね。

①アクセントを持たない接頭辞の語

接頭辞 **be-** / **Be-** Beruf
ge- / **Ge-** Geburtstag Gemüse gerade gesund

* **be-** や **ge-** のようにアクセントを持たない接頭辞には、他に **ent-** / **er-** / **ver-** / **zer-** などありますが、この中から出题対象を追加するとした場合の最有力候補は **ver-** / **Ver-** (verkaufen「売る」、Verkäufer「女店員」) でしょうね。

②アクセントを持つ接尾辞の語

接尾辞 **...ieren** studieren telefonieren

*上掲の **...ieren** のようにアクセントを持つ「接尾辞」には、他に、名詞の接尾辞として **...ist** や **...tät** があります：Polizist, Universität。

③規則化できない語

April	Banane	Familie	Gitarre	Hotel
Japaner	Japanisch	Kartoffel	Klavier	Konzert
Kultur	Moment	Musik	Orange	Regal
Salat	Schokolade	Semester	Student	Tomate

4.3 母音の長短 (本書 17 頁～23 頁)

母音の長短の設問は、同一の母音字に下線を引いた 4 つの選択肢を挙げ、「下線部が長く発音されるもの」あるいは「下線部が短く発音されるもの」を一つ選ばせるものですね。

ドイツ語の母音の長短の基本規則は、「母音の後ろにある子音字が一つの場合あるいは **h** がある場合は**長母音** (Leben「生命」、Uhr「時計」など)、**二つ以上**の場合は**短母音** (Fluss「川」など)」というものです。例外も当然ありますが、アクセントの場合より、点はとりやすいと思います。以下の類題は、「下線部が短く発音されるもの」を選ばせるものにしましたが、母音の長短の設問の場合も、下線部のある母音の長短を一つひとつ確認していく以外に解答方法はないようです。

類題 1 Wasser 2 Haar 3 Liebe 4 Sohn

まず、①下線部の母音が長母音か短母音かを確認。選択肢の 1 の「a」は、二つの子音字 (それも β と対立関係にある ss) の前なので**短母音**、2 の「aa」は、母音字の連続なので**長母音**、3 の「ie」は、[イエ]でなく、[イー]と読むので**長母音**、4 の「o」は、h の前にあるので**長母音**。次に、②これらを長母音と短母音に分けると、短母音は、選択肢 1 の「a」のみ。したがって、正解として選択肢 1 を選ぶ。

以下、2011 年から 2021 年までに出题された単語を、上述の基本規則に基づいて、一覧にしてみます。

①後ろの子音字が 1 つ

<u>F</u> rage	<u>H</u> ose	<u>L</u> eben	<u>M</u> onat	<u>J</u> apan
<u>N</u> ame	<u>Ö</u> l	<u>R</u> adio	<u>S</u> chüler	<u>T</u> ag
<u>T</u> ür	<u>V</u> ater	<u>Z</u> ug		
<u>f</u> ragen	<u>g</u> eben	<u>h</u> aben	<u>h</u> olen	<u>h</u> ören
<u>r</u> ufen	<u>s</u> agen	<u>s</u> chlafen		
<u>g</u> rün	<u>g</u> ut	<u>n</u> eben	<u>s</u> chon	<u>s</u> chön
<u>ü</u> ber				

< 語頭以外 > Gemüse Salat Universität

< 例外 > Österreich *ch については④を参照

② h の前 Jahr ohne

*母音字の連続（-aa-など）と -ie の一部も長母音：Saal, Tee, Boot ; Liebe

③後ろの子音字が2つ以上

<同一子音字>	<u>Ball</u>	<u>Mutter</u>	<u>Sonne</u>	<u>Sommer</u>	<u>Tasse</u>
	<u>kennen</u>	<u>öffnen</u>	<u>schnell</u>		
<ck>	<u>Bäcker</u>	<u>Ecke</u>	<u>Glück</u>		
<sch>	<u>Flasche</u>				
<その他>	<u>Hand</u>	<u>Heft</u>	<u>Köln</u>	<u>Kopf</u>	<u>Mund</u>
	<u>Oktober</u>	<u>Salz</u>	<u>Welt</u>	(特殊：München)	
	<u>helfen</u>	<u>lernen</u>	<u>tanzen</u>		
	<u>alt</u>	<u>jetzt</u>	<u>sechs</u>		
<複数形>	<u>Gäste</u>	<u>Hände</u>			

④前の母音が短母音の ch

möchte Tochter Woche Küche

*ch の場合、前の母音が長いこともあります (Buch「本」、Kuchen「ケーキ」など)。また、複数字音字の前の母音が長い場合もあります (Erde「大地」など)。

4.4 文中で強調される語 (本書 24 頁～30 頁)

質問文と、文中の 4 つの語に下線を引いた返答文を並べ、返答文で最も強調される語を選ばせる文アクセントの設問ですね。これには、補足疑問文と決定疑問文の場合があります。両方の類題で示し、それぞれの解答方法を示してみます。

類題 1 Max, wo wohnst du? — Ich wohne in Kobe.

選択肢 1 Ich 2 wohne 3 in 4 Kobe

類題 2 Kommt Marco aus London? — Nein, er kommt aus Wien.

選択肢 1 er 2 kommt 3 aus 4 Wien

最初に類題 1。質問文は「マックス、君はどこに住んでいるの?」という意味の補足疑問文。返答文は「僕は神戸に住んでいます」という意味の返答文。「どこに?」と尋ねられ、「神戸」と答えているのですから、強調する部分は「神戸」。相手が一番知りたい情報 (ドイツ語では in Kobe と 2 語になっていますが) を一番強調するわけです。したがって、正解は選択肢 4 (詳しく言えば、疑問詞に対応する「主要な」部分)。

次に類題2。質問文は「マルコはロンドンの出身なの？」という意味の**決定疑問文**。返答文は「いいえ、彼は（ロンドンではなく）ウィーンの出身です」という意味の返答文。「ロンドンか？」と尋ねられ、それを否定して、「ウィーン」と答えているのですから、強調する部分は「ウィーン」。この場合も、相手が一番知りたい情報を一番強調するという原則に従っていますね。したがって、正解は選択肢4（別の言葉で言うと、「ロンドン」→「ウィーン」という**対比関係**にある部分）。

上述のことを確認するため、具体的な類題をいくつか挙げてみます。返答文の太字の部分が正解になる部分です。

<補足疑問文>*疑問詞については、9頁～10頁の2.4を参照。

Was isst du gern? 何を食べるのが好き？

— Ich esse gern **Sushi**. お寿司が好きです。

Woher kommt Emma? エマはどこ出身ですか？

— Sie kommt aus **England**. イギリス出身です。

Warum kommt sie heute nicht? 彼女はきょうなぜ来ないの？

— Sie ist heute leider **krank**. 残念なことにきょう病気なんだ。

<決定疑問文（対比的）>

Fährst du morgen nach Wien? 君は明日ウィーンに行くの？

— Nein, ich fahre nach **Bonn**. いいや、ボンに行くんだ。

Geht ihr am Sonntag ins Kino? 君たちは日曜日に映画に行くの？

— Nein, wir gehen am **Samstag** ins Kino. いや、土曜日に。

Ist das dein Computer? これ、君のコンピュータ？

— Ja, das ist **mein** Computer. うん、これ、僕のコンピュータ。

----《著者の戯言》-----

・語彙学習用「日独混交俳句」

柿**エッセン** (essen) 鐘が**ロイテルン** (läutern) 法隆寺

「柿食えば 鐘が鳴るなり法隆寺」(正岡子規)

・この「日独混交俳句」を聞いた「おんどり」が「**ハーン?**」と言ってあきれ顔、「めんどり」が「**ヘンネ!**」と言って不思議がり、最後に「ニワトリ一般」が「**フーン!**」と鼻で笑って立ち去ったとき！
(Hahn「おんどり」、Henne「めんどり」、Huhn「ニワトリ一般」)